

7月の天候

2021年（令和3年）7月の日本の天候は、北日本の気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、北・東日本日本海側の日照時間はかなり多くなりました。東日本太平洋側の降水量はかなり多くなりました。沖縄・奄美の気温は低く、降水量は多く、日照時間は少なくなりました。

2021年（令和3年）7月の天候の特徴は以下のとおりです。

○北日本の気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、北・東日本日本海側の日照時間はかなり多くなりました

中旬以降は北日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北日本の気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、北・東日本日本海側の日照時間はかなり多くなりました。北日本日本海側では、7月として1946年の統計開始以降で1位の多照となりました。

○東日本太平洋側の降水量はかなり多くなりました

東日本太平洋側は上旬に梅雨前線の影響で大雨となり、降水量はかなり多くなりました。

○沖縄・奄美の気温は低く、降水量は多く、日照時間は少なくなりました

期間の後半に台風第6号が沖縄地方にゆっくり接近し、台風の影響が長時間に渡ったため、沖縄・奄美の気温は低く、降水量は多く、日照時間は少なくなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:541KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202107_besshi.pdf

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 山内（観測値や記録について）
電話 03-6758-3900（内線 4263）
大気海洋部 気候情報課 担当 竹川（天候の解説について）
電話 03-6758-3900（内線 4547）